

まだまだまだ減らせろごみがある

皆さんの協力により、ごみの量は減っていますが、

まだまだ減らすことができます。

きちんと分別すれば再利用・再生利用できるものも多く、

資源になるものでも分別されていなければ**ただのゴミ**となってしまう。

排出されるごみの種類は、燃やせるごみが最も多いのですが、

この中にも、**プラスチック製容器包装**や、**ペットボトル**、**古紙**など、

リサイクルできるものが多く混ざっています。

市民・事業者・行政が力を合わせ「**みんなで取り組む**」

資源循環都市の**しものせき**を実現しましょう。

りのごみの量 980gに！

(平成29年度目標)

ペットボトルは衣類などにリサイクルできません。指定の袋に分別を！

ダンボール・新聞紙は古紙へ

マイ箸を持参しよう
【割り箸→5g減量】



詳細◆クリーン推進課(☎252-7165)



のあるプラスチック
製容器包装は再生利用
できます。

エコバッグを持参し、
レジ袋を断ろう
【レジ袋→10g減量】

平成29年度までに達成しよう!

昨年度に下関市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の中間見直しを行い、平成25年度から新たな目標に向かってごみの減量に取り組んでいます。

目標1 ごみの排出量の削減 →1人1日当たり排出量 980g以下

環境E S D(持続可能な開発のための教育)などの諸施策を通じ、分別の徹底などを進めることで、平成29年度までに1人1日当たり排出量980g以下(家庭系ごみ600g、事業系380g)を目指します(家庭系ごみ600gのうち、200gが資源ごみとなります)

目標2 リサイクルの目標 →再生利用率29%

資源物の分別の徹底や民間のリサイクルルート構築を通じ、資源のより一層の循環を進めることで、平成29年度の再生利用率29%を目指します。

目標3 最終処分量の削減 →4%以下

埋立残余容量の少ない吉母管理場(埋立処分場)の延命化のためにも、奥山工場が発生する焼却灰のセメント原料化をはじめとした取り組みや、リサイクルの徹底、ごみの排出量の抑制を通じて、平成29年度の最終処分量の4%以下への削減を目指します。

1人1日当た

1066g→

(平成23年度実績)

お気に入りの
マイボトルを
見つけよう
【紙コップ→5g減量】

詰め替え用商品
を購入しよう
【→60g減量】